

所属	言語文化研究科 英語・英語教育専攻 修士課程	修了年度	平成 26 年度
氏名	王 磊	指導教員 (主査)	渡部 祥子

論文題目	Native-like な英語発音習得
------	----------------------------

本文概要

As a native Mandarin-Speaker, the author often cannot understand what Japanese people say when communicating in English, perhaps because the author has become accustomed to Chinese English. Likewise, perhaps Japanese people cannot understand Chinese English speakers, either. So what do native speakers think when hearing both kinds of English pronunciation in daily life? This research investigates, first, whether Mandarin English or Japanese English is closer in pronunciation to a native accent. It next discusses how learning via the IPA (International Phonetic Alphabet) can influence ESL (English as a Second Language) speakers such as Chinese and Japanese people to reach near-native levels of articulation.

中国人である筆者は、日本人の英語の発音が聞き取りにくく聞こえることが多い。これは筆者が中国式の英語発音に慣れているためだろうか。逆に中国人の英語の発音は、日本人には聞き取りにくいこともあるのではないだろうか。実際に **native speaker** が聞くと、どのように聞こえるのか。

本研究では、まず、日本人と中国人の英語発音は、どちらが **native speaker** に近い発音に聞こえるのか、音声を録音し、比較を試みた。日本と中国の、英語に関連する科目を専攻としない大学院生各 20 名を対象とした。被験者が、英語の文章を読み、音声録音される。その後、**native speaker** が録音を聞き、**native speaker** に近い発音を 5 とし、5 段階評価を行った。

さらに、質問紙を用い、**native-like** の発音習得に影響を及ぼしていると思われるいくつかの要因（発音記号、中学・高等学校における発音指導他）についても調査した。特に日本語でのカタカナ読みと、中国語のピンインは、それぞれ、日本人の学習者、中国人の学習者にどのような影響を与えているか、検討を試みた。

本論では、まず日本の英語発音指導の現状と中国の英語発音指導の現状について概観する。第 2 章では、日本語と中国語の音声の比較を行い、音素、イントネーション、発音記号（カナ、ピンイン）他について、先行研究を検討する。第 3 章では、**native speaker** に近い発音の習得に関する調査の、方法と手順、進行状況、結果について述べる。また質問紙の概要と、調査結果に関する考察を行う。最後に、日本人と中国人の英語発音習得に関して、調査の結果と質問紙の回答から、一考察を述べている。